「仮設店舗と住民の距離を縮める方策」調査
結果報告書

目　次

Ⅰ　背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Ⅱ　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

Ⅲ　調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　はまゆり飲食店街・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
　理容店（釜石市、大槌町）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Ⅳ　調査結果の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

Ⅴ　参考資料
　後継者育成支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　平成 26 年度東日本大震災復興支援事業（抜粋）・・・・・・・・・・・・ 20
　被災生衛業者仮設店舗等分布一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

平成 27 年 3 月

公益財団法人 岩手県生活衛生営業指導センター

Ⅰ 背景

1 **東日本大震災における被災状況・営業状況調査結果から**（抜粋）

被災組合員及び組合別・地域別の営業状況（平成 25 年 11 月 30 日現在）

（1） 被災組合員の営業状況

被災組合員の平成 25 年 11 月末現在の営業状況は、「現地で再開」が 154 人（全体の 16.3%）、「仮設店舗で再開」が 132 人（全体の１4.0%）、「その他の場所で再開」が 110 人（全体の 11.7%）、「休業中（再開の意思あり）」が 33 人（全体の 3.5%）、「廃業」が 72 人（全体の 7.6%）、「営業継続」が 438 人（全体の 46.5%）、「不明」が 3 人（全体の 0.3%）となっている。

（2） 地域別の営業状況

	1 現地で再開	2仮設店舗で再開	3その他の場所で再開	4休業中（再開意思あり）	5廃業	6営業継続	7不明	組合員数
久慈地区	12	1	3	1	3	167	0	187
宮古地区	64	24	30	12	26	93	0	249
釜石地区	46	54	29	11	19	83	0	242
気仙地区	32	53	48	9	24	95	3	264
合 計	**154**	**132**	**110**	**33**	**72**	**438**	**3**	**942**

※釜石地区が、仮設店舗で再開者が一番多い。

2 **被災地生衛業者シンポジウム（平成 26 年 2 月 19 日、宮古市で開催）から**（抜粋）

全国指導センターでは、岩手県・福島県において被災地生衛業者と有識者によるシンポジウムを開催し、震災後 3 年を経過した被災地生衛業の現状と課題について、その実態把握に努めた。

(1) 復興に向けて生衛組合を中心に被災地生衛業者が取り組むべきこと

① 業界団体としての意見集約・要望活動の展開

② 情報提供の強化・情報提供方法の見直し

③ **店舗と住民の距離を縮める取り組み**

今回のシンポジウムでは、仮設店舗と仮設住宅の立地の問題が指摘された。

生衛組合が連携し、仮設住宅から仮設店舗へ来るための交通手段の確保などの取り組みを展開するなど、店舗と住民の距離を縮め、仮設営業者の経営の安定化を促進すべきである。

④ 後継者の育成・新規開業事業者への支援

II 調査の概要

1　目的：**「仮設店舗と住民の距離を縮める方策」の検討資料**とするため。

2　実施組合：次の 3 組合とする。

(1)　岩手県社交飲食業生活衛生同業組合

(2)　岩手県中華料理生活衛生同業組合

(3)　岩手県理容生活衛生同業組合

3　実施概要

	社交	**中華**	**理容**	**備考**
実施時期	**8 月～12 月(5 ケ月)**	**8 月～12 月(5 ケ月)**	**8 月～10 月（3 ケ月）**	
実施場所	「はまゆり飲食店街」	「はまゆり飲食店街」	釜石市、大槌町	
1 日目標	**40 人(20 店×2 人)**	**30 人(15 店×2 人)**	**8 人（8 店×1 人）**	
1 ケ月目標	1，000 人調査依頼	600 人調査依頼	200 人調査依頼	
総目標	**5，000 人調査依頼**	**3，000 人調査依頼**	**600 人調査依頼**	※調査目標数を回収した時点で終了

4　スケジュール

7 月中旬：関係者第一回打合せ

7 月 28 日：アンケート調査票、関係者へ送付

7 月 29 日：関係者第二回打合せ（山崎支部長）
釜石市役所、商工会議所へ実施する旨、情報提供

8 月 1 日：アンケート調査開始
※ご来店のお客様に、アンケート調査（別紙調査票）を実施

8 月～2 月：アンケート調査票集計事務

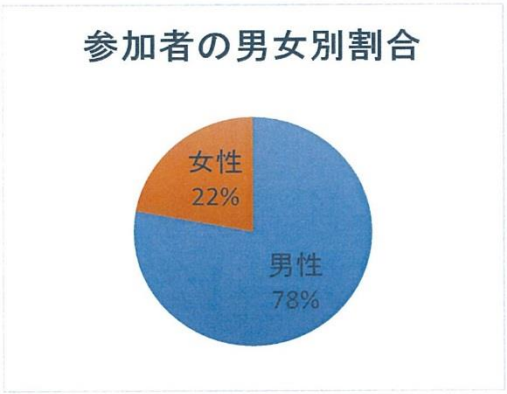
3 月下旬：アンケート調査の結果を報告書に掲載
必要に応じて、行政機関にも情報提供し復興に向けた施策への反映を要請

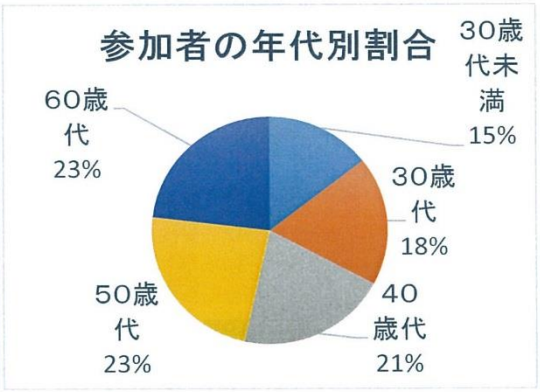
Ⅲ　調査結果

平成26年度復興支援事業に関するアンケート調査集計(社交飲食業・中華料理、その他総合計)

■回答者属性

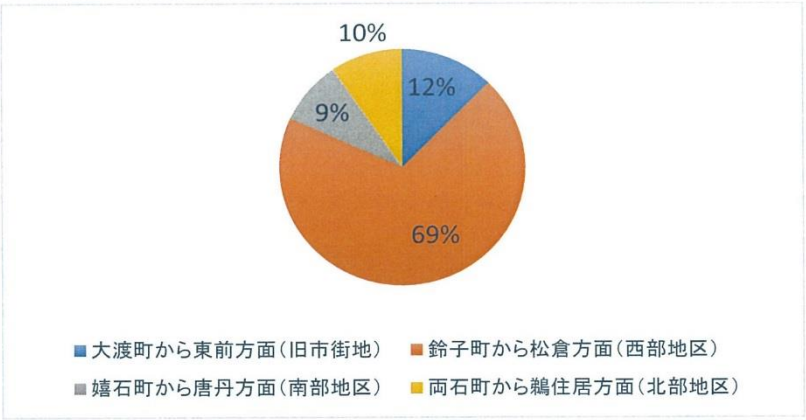
	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	計
男性	112	151	163	227	217	870
女性	50	54	68	34	41	247
計	162	205	231	261	258	1117





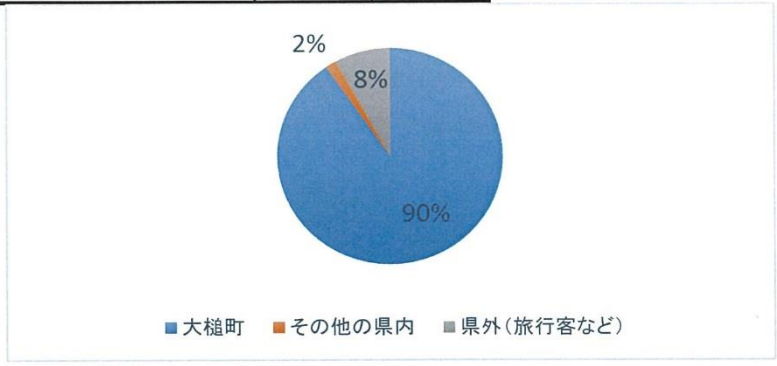
■お住いの地区(釜石市内)

大渡町から東前方面(旧市街地)	鈴子町から松倉方面(西部地区)	嬉石町から唐丹方面(南部地区)	両石町から鵜住居方面(北部地区)
122	687	86	94



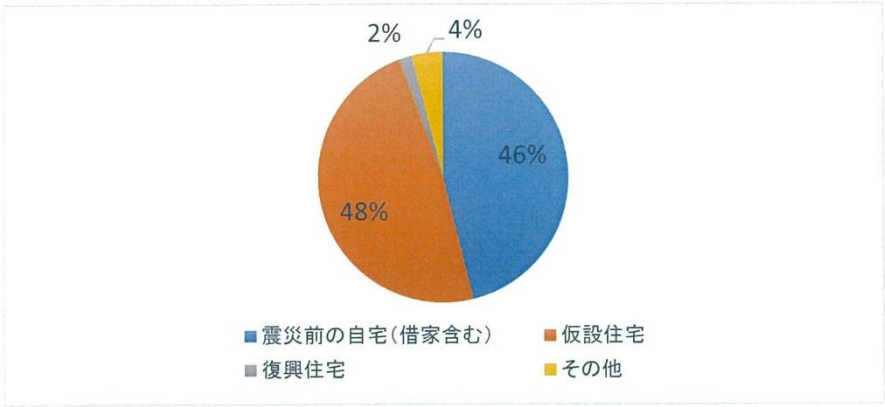
■お住いの地区(釜石市外)

大槌町	その他の県内	県外(旅行客など)
113	2	10



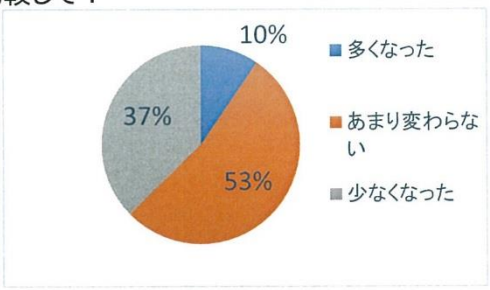
■お住いの現状（※釜石市内にお住いの方のみ解答）

震災前の自宅（借家含む）	仮設住宅		復興住宅	その他
	旧市街地	それ以外		
508	64	466	18	44
	530			



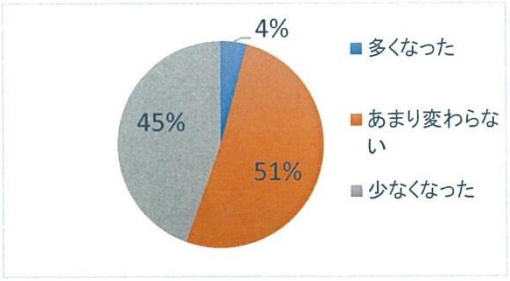
問1.飲食店を利用する頻度は震災前と比較して？

項目	人数
多くなった	105
あまり変わらない	584
少なくなった	409
合計	1098



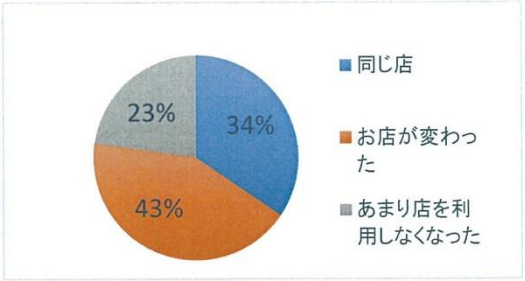
問2.1回の利用に対して支払う金額は震災前と比較して？

項目	人数
多くなった	46
あまり変わらない	570
少なくなった	495
合計	1111



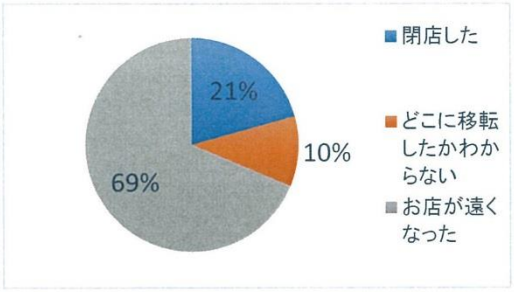
問3.最近利用している飲食店は震災前と同じお店ですか？

項目	人数
同じ店	385
お店が変わった	476
あまり店を利用しなくなった	253
合計	1114



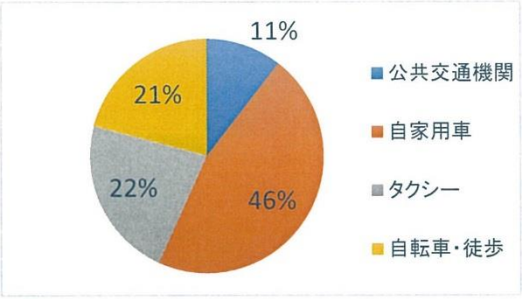
問4.問3.で「②震災後は利用するお店が変わった」「③利用しなくなった」と回答した方への質問です。その理由は？

項目	人数
閉店した	150
どこに移転したかわからない	77
お店が遠くなった	498
合計	725



問5.当組合店を利用の際の交通手段は？

項目	人数
公共交通機関	121
自家用車	533
タクシー	258
自転車・徒歩	240
合計	1152



問6.交通手段で関係機関などに要望したいことはありますか？※複数回答あり

1.バス関連　148

＜ 内 訳 ＞

■バスの便数増設　103

バス最終運行時間延長を望む　23
・最低22時位　4人
・深夜0時
・最終バス21時位に1本ほしい。 鈴子ー大橋
・若干割高でもよい。
・松倉方面への最終バスをせめて 22:45 位迄
・最終バス時間が早くなったので、もう少し遅くして
・最終便を遅くまで運行。 3人
・特に深夜

■バスの夜間運行回数を増やしてほしい　13
■路線も回数も増やして欲しい　4
■市内巡環バス希望　3
■シャトルバスの運行　1
■山の手へのバス運行時間が減っている。　1

2.運転代行関連　27

＜ 内 訳 ＞

■運転代行の台数を増やして欲しい　19
■運転代行代を安くしてほしい　5
■運転代行に非常に不便を感じる　3

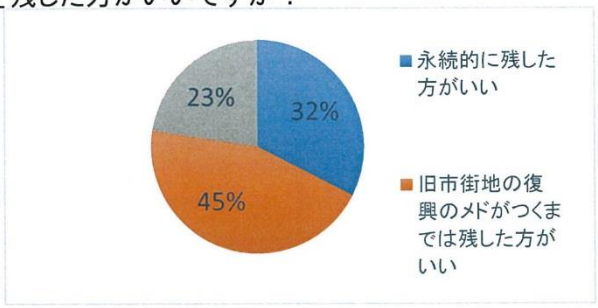
3.その他　11

＜ 内 訳 ＞

■インフラ整備を早急に　3
■バスも汽車も最終があと1時間遅ければ　1
■鈴子から町へ行くアクセスがない　1
■年配者が乗り降りしやすいバス　1
■自分が飲んで歩く事に対し交通手段の事は言えない　1
■いまくらいで OK　1
■駐車場を確保して欲しい　1
■釜石はどこに行くのにも道路は不便（車がないと）　1
■遅くなるとタクシーも、なかなか来ない　1

問7.はまゆり飲食店街（鈴子町）を残した方がいいですか？

項目	人数
永続的に残した方がいい	347
旧市街地の復興のメドがつくまでは残した方がいい	478
わからない	241
合計	1066



問8.はまゆり飲食店街に望むことはありますか？

1.営業時間を延長してほしい　48

2.バス関連　4

＜ 内 訳 ＞

■はまゆり飲食店街発のバスが夜12時頃にあれば良い。 1
■最終バスの延長か乗り合いバス（ジャンボタクシー）があれば 1
■最終バスが早いのでゆっくり飲めない。 1
■バスの夜の時間が早すぎる。せめて22時頃まで 1

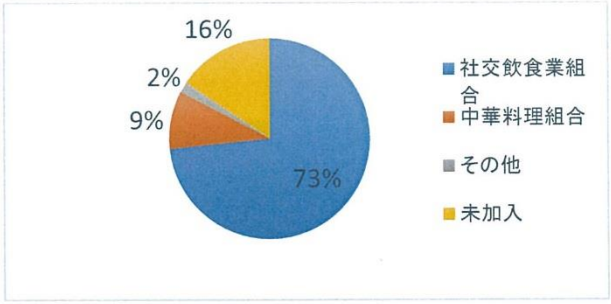
3.その他　35

＜ 内 訳 ＞

■やめないで、頑張って下さい。 2
■市のほうも面倒お願いします。 2
■今のままで満足です。 2
■ずっと残して欲しい。 2
■この現況で営業してくれてありがとう。 2
■これからも利用したい。 1
■空き店舗などを利用して場所を広く活用したほうがいいと思う。 1
■24時以降も営業してほしい。 1
■駐車スペースがあればいい 1
■鈴子地区は別用途　営業してることに敬意を表します 1
■これ以上は無理　後は公的な街つくりによる飲食街を作る事 1
■はまゆり飲食店街の方々の経済的負担の軽減 1
■土日の昼間に営業している店も作って欲しい 1
■今の、のんべい横町の雰囲気が好きです。残して欲しい 1
■場所はとても良いので、キャンペーン等で人を集められると思う 1
■営業時間、もっと歩く場所を広くしてほしい。 1
■午前2時頃迄延長してほしい。金額が高い、安いがあり平均に 1
■2011.7月末に転勤で来釜。今のままで十分、満足している。 1
■よく頑張っていると思う。このまま頑張れ 1
■行政と一本化良い方法を考えるべき。市の方向が見えない 1
■お店同士の連携や地のりを生かしたイベント等開催されたら？ 1
■釜石でしか食べれない物を食べたいです。 1
■店の方の若返り。 1
■盛り上げて頑張って下さい。 1
■街灯を明るくして欲しい。 1
■早く街に来て欲しい。 1
■早い時間から営業して欲しい。 1
■狭い仮設で良く営業してくれている。 1
■子供向けのメニューの増 1
■いつも美味しい食事をありがとう。 1

所属組合（店舗記載欄）

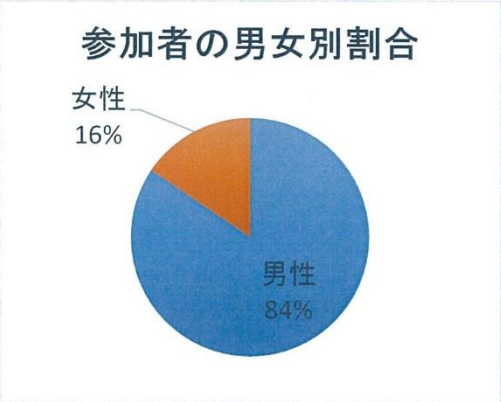
社交飲食業組合	715
中華料理組合	91
その他	16
未加入	152

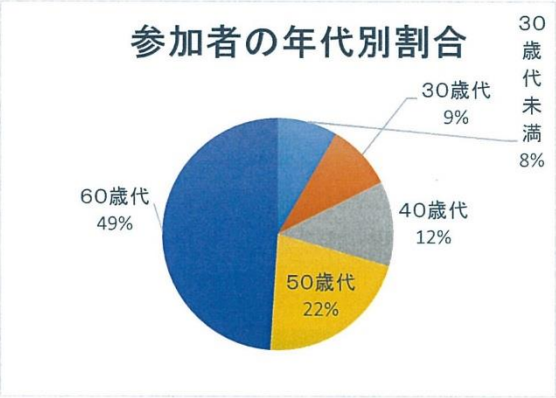


平成26年度理容組合復興支援事業に関するアンケート調査集計

■回答者属性

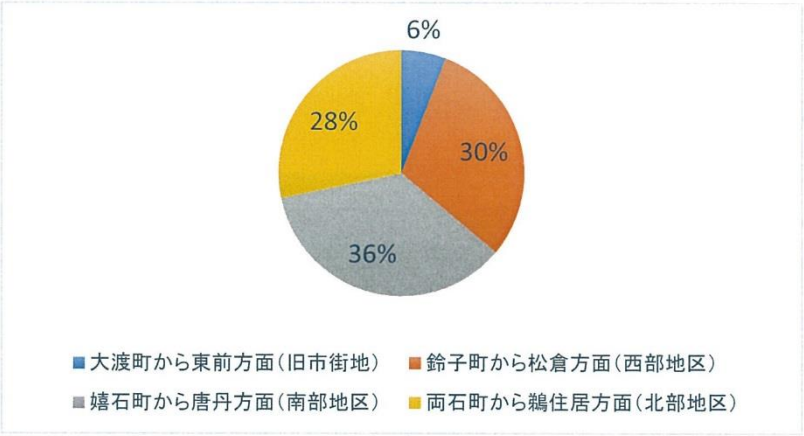
	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	計
男性	33	35	46	82	168	364
女性	3	5	5	11	43	67
計	36	40	51	93	211	431





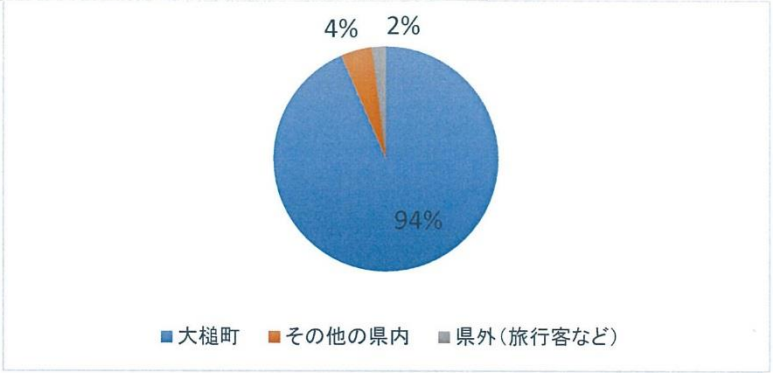
■お住いの地区（釜石市内）

大渡町から東前方面（旧市街地）	鈴子町から松倉方面（西部地区）	嬉石町から唐丹方面（南部地区）	両石町から鵜住居方面（北部地区）
12	62	73	58



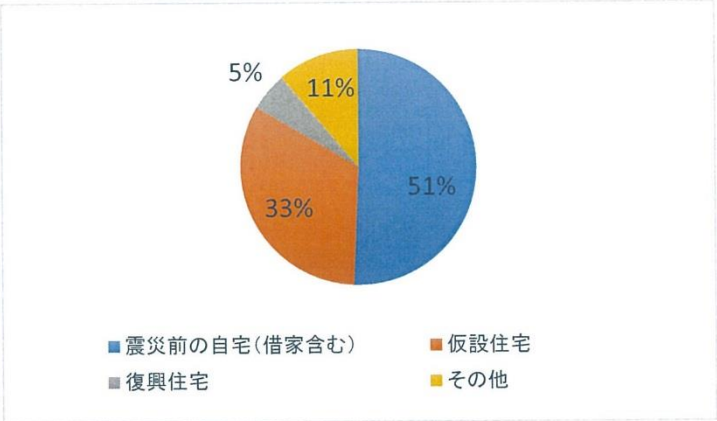
■お住いの地区（釜石市外）

大槌町	その他の県内	県外（旅行客など）
230	11	5



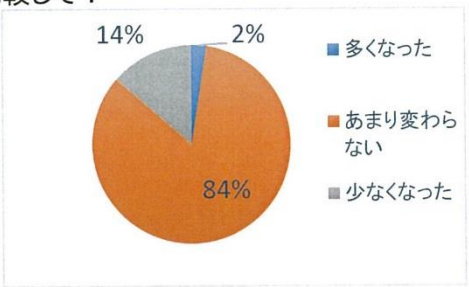
■お住いの現状（※釜石市内、大槌町内にお住いの方のみ解答）

震災前の自宅（借家含む）	仮設住宅		復興住宅	その他
	旧市街地	それ以外		
194	72	58	24	44
	130			



問1.理容店を利用する頻度は震災前と比較して？

項目	人数
多くなった	11
あまり変わらない	375
少なくなった	61
合計	447

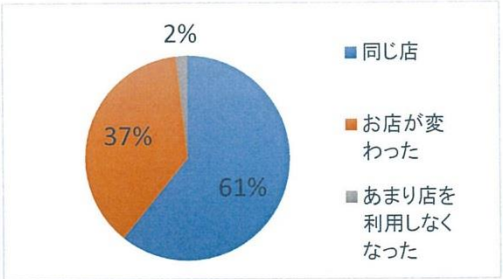


問2.1回の利用に対して支払う金額は震災前と比較して？

項目	人数
多くなった	37
あまり変わらない	411
少なくなった	11
合計	459

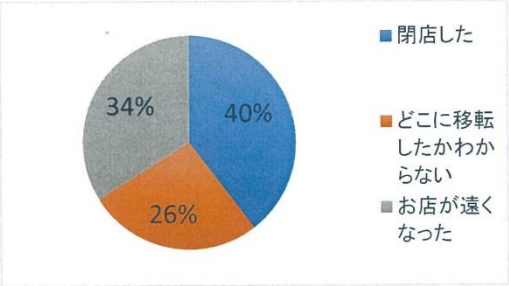
問3.最近利用している理容店は震災前と同じお店ですか？

項目	人数
同じ店	280
お店が変わった	172
あまり店を利用しなくなった	8
合計	460



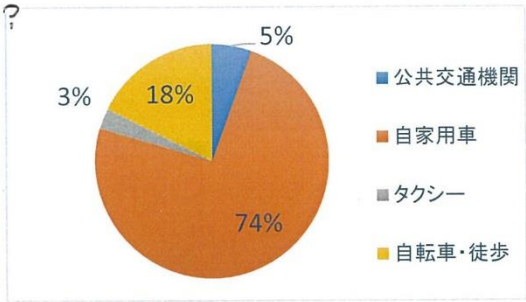
問4.問3.で「②震災後は利用するお店が変わった」「③利用しなくなった」と回答した方への質問です。その理由は？

項目	人数
閉店した	69
どこに移転したかわからない	46
お店が遠くなった	59
合計	174



問5.当組合店を利用の際の交通手段は？

項目	人数
公共交通機関	25
自家用車	337
タクシー	13
自転車・徒歩	80
合計	455



問6.交通手段で関係機関などに要望したいことはありますか？

1.バス関連　　15

＜ 内 訳 ＞

■足が悪く仮設住宅からバス停まで歩いて行けない、移動できない。 1
■バスに乗ることがない。バスに乗ったことがない。 1
■バス運行回数の増設。 1
■利用店の近くにバス停が欲しい。 1
■にこにこバスもう少し使い勝手がよければ、もったいない 1
■店主とバスが便利になれば車利用が減るのかについて話した。結局バスが人々のニーズにこたえることがどこまで可能か少しでも不便であれば車 1
■車の維持費ガソリン高い。バスで用が足りるのであれば車を手放したい 1
■バスがとっても便利になれば車を使わないだろうか？車の維持費を考えるとシフトする可能性はあるかどうか。 1
■にこにこバス≠県交通≠タクシー上手く連携取れたら 1
■にこにこバスは予約が面倒だ。 1
■乗り継ぎが悪い。 1
■乗りたい時間帯にない。待つバス停もない。 1
■出かけるとすれば病院の買い物ぐらいバス停に行くまで大変。待つ場所もなく1日 1
■バスは少ないが、乗る人も少ない。赤字が増えるのも問題。成功例はないか。 1
■バスを多く 1

2.タクシー関連　　5

＜ 内 訳 ＞

■車ほど便利なものはないが、運転できなくなったらタクシーは高い。 1
■バスの乗り降り大変。タクシーも使っていられない、何か補助金があればいいが。 1
■よく店の人に送ってもらう。バスは少なく、タクシーは高い。 1
■僻地なのでタクシーの割引券があれば行きたい 1
■タクシーの値段がもう少し安くなれば。 1

3.その他　　26

＜ 内 訳 ＞

■以前より理容店が近くなったのでとても良い。 1

■こうゆう時なので致し方ありません。	1
■仮設から近いので助かります。	1
■仮設住宅の集約でまた移動になる。店まで歩きは遠くなるのでどうしたものか・・・	1
■移動に時間がかかるので坊主にした。	1
■学生はクラブをやっていれば親に送り迎えをしてもらう。以前は最寄り駅までだったが今は学校近くまで負担大きい。	1
■可能性として何が下げられるのか教えて欲しい。	1
■新しいことを考えたい。	1
■他の僻地での取り組みを参考にして欲しい。	1
■将来歳をとった時バスもない、JRもない、車もない、どうやって暮らしいけばいいのか不安。	1
■病院にいくにも1日がかりで疲れる。	1
■三鉄でもいいので早く復旧して欲しい。	1
■乗り降りが高くて大変だ。もう少し小さくてもいい。	1
■仮設住宅の付近、次はどこに住むのか少しでも便利なところに住みたい。	1
■いつでも車利用あまり考えたことがない。	1
■全国での成功例、新たな取り組みを知りたい。	1
■運転できる間はいいがその後不安。	1
■復興支援で静岡より転入。不便。歳とったらどうする。	1
■復興支援で大阪より転入。ここは不便。全国の過疎で成功例を探ってみればいい	1
■店は遠くなったが仕方がない。	1
■いつまで車でこれるか心配。	1
■80才になっても車の方が楽だから運転している。本当は危ないのもわかっているが車がなかったら不便だ。	1
■車の運転をしている間は特にない。	1
■県道は本数も少なく不便。	1
■自分の都合に合わせているので特にありません。	1
■交通費のかからないところに住みたい	1

Ⅳ　調査結果の総括

1 「はまゆり飲食店街」の調査について

本アンケート調査は、釜石市の「はまゆり飲食店街」で仮設店舗営業をしている方々に利用者へのアンケート調査をお願いし、8千人を目標に実施したが、**結果、1，117人から回答**をいただいた。

震災から4年目を迎えようとしている中で、かつ初めての調査を実施しましたが、今回の調査では、来客者の多くが復興を支援する根強いファンなどの固定客であり、かつリピーターが多いことが明らかになりました。従って、調査期間中に、同じお客様に数回アンケート調査を依頼することとなり、当初目標を大きく下回ったところであります。

しかしながら、千人を超える方から回答をいただいたことは、本設再開に向けて頑張っている被災生衛業者にとりましては大きな勇気をいただいたものと思っております。

2 「はまゆり飲食店街」を利用するお客様の動向（アンケート調査結果から）

(1)　**約8割が男性客**　　男性（78%）、女性（22%）

(2)　20歳代から60歳代まで、ほぼ平均的に利用している。

30歳未満（15%）、30歳代（18%）、40歳代（21%）、50歳代（23%）、60歳代（23%）

(3)　（釜石市内在住者）利用者の約7割が、鈴子町から松倉方面地区の方

大渡町から東前方面（12%）、鈴子町から松倉方面（69%）、嬉石町から唐丹方面（9%）、両石町から鵜住居方面（10%）

(4)　（釜石市内在住者）利用者の約5割が、仮設住宅に住んでいる方

震災前の自宅（借家含む）（46%）、仮設住宅（48%）、復興住宅（2%）、その他（4%）

(5)　震災後は利用する「店が変わった」「利用しなくなった」理由の約7割が「店が遠くなった」

閉店した（21%）、どこに移転したかわからない（10%）、店が遠くなった（69%）

(6)　お店を利用する際の交通手段では、約5割が「自家用車」利用

公共交通機関（11%）、自家用車（46%）、タクシー（22%）、自転車・徒歩（21%）

(7)　交通手段で関係機関などに要望したい事項

1位：バス関連（便数増、夜間運行増、運行時間延長、路線増）148件
2位：運転代行関連（台数増など）27件

(8)　利用者の約8割が「旧市街地の復興のメドがつくまで」存続を希望

永続的に残した方がいい（32%）、旧市街地のメドがつくまでは残した方がいい（45%）、わからない（23%）

(9)　はまゆり飲食店街に望むこと

1位：営業時間の延長48件
2位：バス関連　　4件

3 「理容店」の調査について

本アンケート調査は、釜石市と大槌町で仮設店舗営業をしている方々に利用者へのアンケート調査をお願いし、600 人を目標に実施し、**結果、431 人から回答**をいただいた。

4 「理容店」を利用するお客様の動向（アンケート調査結果から）

(1) **約 8 割が男性客**　　男性（84%）、女性（16%）

(2) 約 5 割が 60 歳代の利用

30 歳未満（8%）、30 歳代（9%）、40 歳代（12%）、50 歳代（22%）、60 歳代（49%）

(3) 利用者の約 5 割が、震災前の自宅に住んでいる方

震災前の自宅（借家含む）（51%）、仮設住宅（33%）、復興住宅（5%）、その他（11%）

(4) 利用者の約 6 割が、震災前と同じ店

同じ店（61%）、お店が変わった（37%）、あまり店を利用しなくなった（2%）

(5) 震災後は利用する「店が変わった」「利用しなくなった」理由の約 4 割が「閉店した」

閉店した（40%）、どこに移転したかわからない（26%）、店が遠くなった（34%）

(6) お店を利用する際の交通手段では、約 7 割が「自家用車」利用

公共交通機関（5%）、自家用車（74%）、タクシー（3%）、自転車・徒歩（18%）

(7) 交通手段で関係機関などに要望したい事項

1 位：バス関連（便数増など）15 件

2 位：タクシー関連（割引券など）5 件

○ 今後の展開について

・本アンケート調査は、平成 26 年 2 月 19 日開催の被災生衛業者シンポジウム（全国生活衛生営業指導センター主催）において、有識者から「生衛組合が連携し、仮設住宅から仮設店舗へ来るための交通手段の確保などの取り組みを展開するなど、店舗と住民の距離を縮め、仮設営業者の経営の安定化を促進すべきである。」との提言が有り、今後、**「仮設店舗と住民の距離を縮める方策」の検討資料**とするため実施したところである。

・震災から 4 年を経過するも、被災生衛業者の経営状況は、土地区画整理事業の遅れや顧客減少等により一層の厳しさが伺われる。

・本アンケート調査では、仮設店舗での営業を継続している「はまゆり飲食店街」、及び釜石市・大槌町の理容店を利用するお客様の動向や要望事項等がわかった。

・また、要望事項等については、**バスの便数増や運転代行の台数増、営業時間の延長など**、被災地での生活を続ける地域住民の生の声を聞くことができた。今後、本報告書を地元自治体や商工会議所等へ情報提供し、今後の施策に活かしていただくこととといたしたい。

・さらには、交通手段の確保等については、関係機関と連携し、シンポジウムを開催する等、市民ニーズの機運向上に努めてまいりたい。

後継者育成支援事業（過去 3 ケ年の実績）

平成 24 年度（出前授業）

	月日	学校名	対象	体験内容
1	10 月 30 日	山田町立船越小学校 《復興支援事業》	２～6 年生 56 名	理容・美容業（マッサージ体験） 飲食業（すし業、中華料理）、興行（移動映画）
2	11 月 26 日	岩手女子高等学校	1 年生 74 名	美容業(カット・着付けなどの実演、モデルウォーキング等)
3	12 月 10 日	大船渡市立第一中学校 《復興支援事業》	２年生１02 名	理容・美容業（カット、マッサージ体験）※ヘアショー、ブライダルショー 飲食業（中華料理、料理業、飲食業）
4	**2 月 28 日**	**釜石市立大平中学校**	**49 名**	**理容業（講話、技術の紹介、カット体験など）**
5	3 月 11 日	県立水沢商業高等学校	1 年、2 年生 206 名	理容業(講話、技術の紹介、カット体験など)
計			**487 名**	

平成 25 年度（出前授業）

	月日	学校名	対象	体験内容
1	10 月 7 日	山田町立荒川小学校 《全理連補助事業》	３年生以上２４名	理容業(ヘアカット・マッサージ体験)
2	**10 月 8 日**	**釜石市立釜石中学校**	**3年生 150名**	**美容業（ヘアカット・ハンドマッサージ体験）、 飲食業（中華料理、飲食）**
3	10 月 25 日	山田町立大浦小学校 《理容以外復興支援事業》	全校生４２名	理容業（ヘアカット・マッサージ体験）、飲食業（すし、中華料理）、クリーニング業（アイロンかけ指導）
4	12 月 9 日	大船渡市立第一中学校	２年生１２０名	理容業（ヘアカット・マッサージ体験）、飲食業（中華料理、料理業）
5	12 月 24 日	岩泉町小本中学校 《復興支援事業》	全校生４７名	理容業（マッサージ体験）・飲食業（すし体験）
計			**383 名**	

平成 26 年度（出前授業）

	月日	学校名	対象	体験内容
1	9 月 1 日	山田町立豊間根小学校	6 年生 18 名	理容業（マッサージ体験）
2	10 月 22 日	陸前高田市立小友小学校	6 年生 15 名	クリーニング（アイロンかけ体験など）
3	11 月 17 日	宮古市立田老第一中学校	1、2 年生 67 名	理容業（ヘアカット・マッサージ体験） 飲食業（すし）
4	**11 月 17 日**	**大槌町立大槌中学校**	**2 年生 88 名**	**美容業（ヘアカット・ハンドマッサージ体験） 飲食業（飲食）**
5	12 月 8 日	大船渡市立大船渡中学校	1 年生 87 名	理容業（ヘアカット・マッサージ体験） 飲食業（中華料理）
計			**275 人**	

大槌中学校　体験学習の記録

期　日：　平成 26 年 11 月 17 日(月)　13 時 00 分～15 時 20 分

場　所：　大槌中学校　大槌町小槌第 22 地割　☎0193-42-2023

事業参加者：約 103 名：生徒 81 名（飲食業 18 名、美容業 63 名）教師約５名　スタッフ 17 名

マスコミ報道・・・岩手朝日テレビ、岩手日報、大槌ＦＭ

体験学習スケジュール

① 美容業体験（講話、カット・ヘッドスパ・ワインディングの実技体験、洋装ウェディングショー）

多田副理事長によるヘッドスパ実技

北山釜石支部長によるカット実技

生徒の皆さん興味津々

モデルの先生を生徒がエスコート

先生方の素敵な姿に生徒の皆さん大喜び

② 13 時 25 分～15 時 00 分・・・飲食業体験（郷土料理作り～「ひっつみ」と「鮭と舞茸の炊き込みご飯」を作ろう～）　生徒 18 名（家庭科室）

まずは、ひっつみの生地作り

調理のポイントを教わりいざ実践

炊き込みご飯とひっつみの完成

自分たちで作った料理は格別

閉会式　生徒代表より御礼の言葉

※　参加団体

（公財）岩手県生活衛生営業指導センター　理事長　小暮信人　職員 1 名

岩手県飲食業生活衛生同業組合　釜石支部長　藤井　和幸ほか 4 名

岩手県美容業生活衛生同業組合　理事長　稲川　善昭　ほか 10 名

建物認可）

美容や飲食のプロに学ぶ

大槌中 職業体験で関心高め

ヘアカットに挑戦する大槌中の生徒たち

大槌町小鎚の大槌中（大森厚志校長、生徒262人）の2年生81人は17日、美容業や飲食業の仕事を体験しながら身近な職業への関心を高めた。生徒はプロの美容師や調理師に学び、楽しみながら身近な職業への関心を高めた。

県生活衛生営業指導センターが被災地支援の一環で実施。同校で開かれた体験会には県生活衛生同業組合の約20人が講師として参加した。美容業の体験を選んだ生徒は3班に分かれ、ヘアカットやヘッドスパ、パーマをする際に行うワインディングなどに挑戦した。

柏崎麻奈さんは「プロの人が目の前でやってくれてうれしかった」と笑みを広げ、田中絵美里さんは「すてきな技術だと思うし、美容師がどれくらい大変な思いをしているか初めて分かった」とうなずいた。

体験会は宮古市の田老一中でも開かれた。12月8日は大船渡中で開催予定。

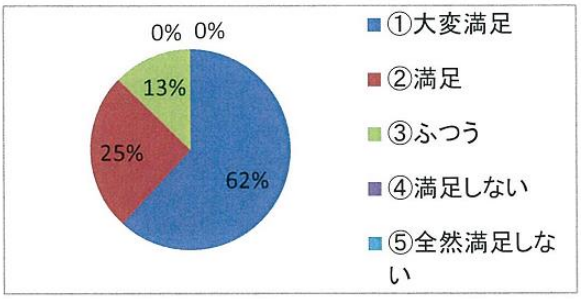
11/17大槌中学校「体験学習」アンケート集計表（総合計）

問１：体験されたのはどれですか？

項目	人数
美容業	63
飲食業	18
合計	81

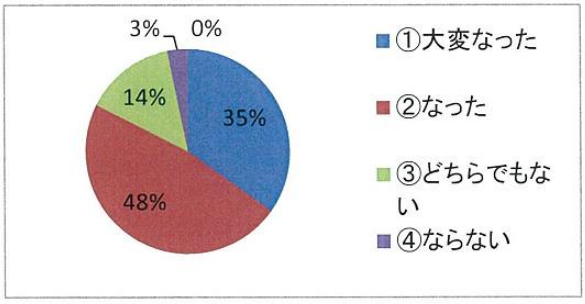
問２：「体験学習」の満足度はいかがでしたか？

項目	人数
①大変満足	54
②満足	18
③ふつう	9
④満足しない	0
⑤全然満足しない	0
合計	81



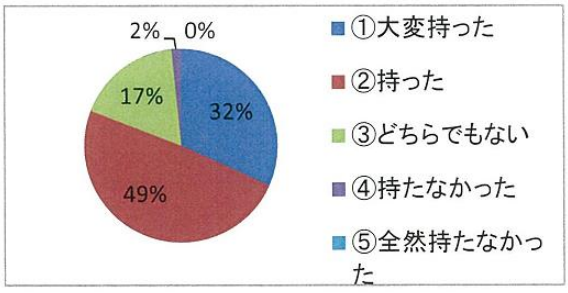
問３：「体験学習」は、将来の職業を考えるきっかけになりましたか？

項目	人数
①大変なった	32
②なった	35
③どちらでもない	12
④ならない	2
⑤全然ならない	0
合計	81



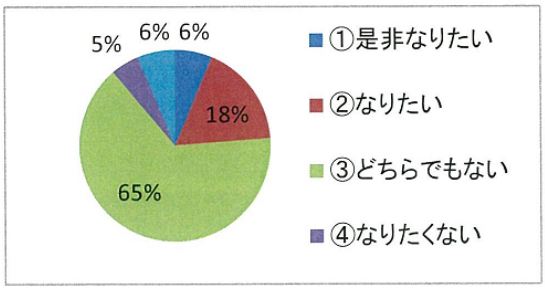
問４：「体験した職業」に興味・関心を持ちましたか？

項目	人数
①大変持った	30
②持った	37
③どちらでもない	13
④持たなかった	1
⑤全然持たなかった	0
合計	81



問５：「体験した職業」に将来なりたいと思いますか？

項目	人数
①是非なりたい	6
②なりたい	16
③どちらでもない	51
④なりたくない	3
⑤全然なりたくない	5
合計	81



問6：今後どのような体験学習をやってみたいですか

教師　4人
調理　4人
パティシエ　1人
声優（芸能関係）　3人
美容系　3人
ゲーム関係　2人
狩人　2人
ファッション関係　2人
コンビニの店員（店長）
裁縫
大工
髪を切る
マッサージ
コンピューター
消防士体験
商売
接客
機械操作
ウェディング関係
医療関係
音響・照明・映像

普段できないこと　3人
バスに乗って色んなところに行きたい
動物と触れ合う仕事
人と関われる仕事
楽しいこと
運動、体を使う
物を作る

平成 26 年度 東日本大震災復興支援事業（抜粋）

1　被災生衛業者経営強化特別支援事業

本事業は、被災地での仮設店舗者や、営業再開の意思のある休業者等に対して、専門的かつ的確な経営改善を行うことにより経営体質の強化を図り、早期に本設再開させることを目的として実施した。

(1)　専門家派遣

	派遣日	専門家氏名	派遣先	指導概要	指導の効果
1	6/18	小地沢 俊介 (岩手県産業創造ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ)	山田町 (飲食店)	販路開拓支援	メニュー表示等の差別化
2	7/25	同　上	同　上	同　上	看板メニューの料理を業務用流通への展開を検討
3	7/10	千葉 英男 (Lac 代表取締役)	大船渡市 (美容室)	情報発信策支援	ホームページ作成の方向性が明確化、Facebook 活用の理解
4	8/2	沢田　修 (中小企業診断士)	大船渡市 (飲食店)	事業後継等支援	事業継承等、3ﾊﾟﾀｰﾝを助言
5	10/11	沢田　修 (中小企業診断士)	釜石市 (飲食店)	店舗本設の検討	自宅を改修して店舗とする方策を検討
6	2/20	酒井俊巳 (中小企業診断士)	釜石市 (旅館)	経営基盤の強化策等	経営戦略、資金計画等を助言
7	2/22	沢田　修 (中小企業診断士)	大船渡市 (飲食店)	移転新築方針、課題整理	移転新築方針の整理、資金計画等を助言

(2)　被災地生衛業者支援説明会・経営相談会

	月　日	予定時間	場所	内容・参加人員
1	8/4（月）	11：00～	県理容会館 （盛岡市）	経営相談会 ・16 人参加
2	同　上	13：00～	同　上	**被災地生衛業者支援策説明会（盛岡）** ・37 人参加
3	9/1（月）	15：00～	山田町 （ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ）	経営相談会 ・24 人参加
4	9/8（月）	11：00～	青葉ビル （釜石市）	経営相談会 ・19 人参加
5	9/8（月） 9/9（火）	13：30～ ～11：30	ﾍﾞｲｼﾃｨﾎﾃﾙ （釜石市）	**被災地生衛業者支援策説明会（釜石）** ・73 人参加
6	9/22（月）	13：00～	陸中ビル 3 階 （宮古市）	経営相談会 ・25 人参加
7	10/6（月）	10：00～	サン・リア （大船渡市）	経営相談会 ・25 人参加
8	10/7（火）	12：00～	洋野町大野ﾃﾞｻﾞｲﾝｾﾝﾀｰ	経営相談会 ・19 人参加
9	12/15（月）	13：20～	大船渡商工会議所	**被災地生衛業者支援策説明会（大船渡）** ・51 人参加
10	1/5（月）	14：00～	釜石市 ｼｰｶﾞﾘｱﾏﾘﾝ	経営相談会 ・26 人参加
11	2/2（月）	15：00～	盛岡市	経営相談会 ・48 人参加
12	2/9（月）	11：00～	大船渡市	経営相談会 ・42 人参加
13	2/16（月）	13：30～	野田村 えぼし荘	経営相談会 ・30 人参加

講義時間等

1　指導センター（30 分）：復興支援事業、経営強化特別支援事業ほか
2　公庫から　　（30 分）：日本政策金融公庫の生衛業融資制度について
3　個別相談会

(3) 被災地の仮設店舗等個別訪問指導

	25.11.30 時点	26.11.30 時点 ①	個別訪問指導の状況		営業者等への今後の対応			継続支援の概要
			訪問件数 ②	未訪問件数 ③（①-②）	継続支援	支援終了	支援不要	
仮設店舗で再開	132	131	**84**	47	**125**	6		・6 店は、仮設撤去時廃業検討 ・グループ補助金申請等支援　125 店 ・日本政策金融公庫融資相談 125 店
別の場所で再開	110	101	**8**	93	**101**			
休業中	33	29	**2**	27	**29**			
計	275	261	**94**	167	**255**	6		

① 個別訪問により把握した被災事業者の課題

宮古市：田老地区は平成 27 年度に本設予定で、1/4 負担の資金確保等について要相談
（日本政策金融公庫等の融資等対応）

山田町：仮設商店街立地場所の嵩上げ工事が平成 27 年度開始予定。
一時的に仮設店舗の移転となることによる資金融資相談等

大槌町：概ね平成 29～31 年度の本設展開に向けたグループ補助金や自己資金の相談等

釜石市：概ね平成 28～31 年度の本設展開に向けたグループ補助金や自己資金の相談等
平成 31 年度以降、はまゆり飲食店街入居事業者の相談対応等

大船渡市：概ね平成 29～31 年度の本設展開に向けたグループ補助金や自己資金の相談等

陸前高田市：概ね平成 29～31 年度の本設展開に向けたグループ補助金や自己資金の相談等

② 課題解決に向けて必要となる支援

ア 沿岸地域（被災自治体）での**支援策説明会や個別相談会等の開催**

イ 255 事業者への個別訪問を行い、**本設展開に向けた支援策等、情報提供の強化**

被災地 生衛業者支援策説明会（釜石）

（平成 26 年 9 月 8 日～9 日　岩手県釜石市）

全体風景

東日本大震災事業者再生支援機構

県指導センター、全国指導センター

県中小企業団体中央会

釜石商工会議所

中小企業基盤整備機構東北本部

日本政策金融公庫

釜石市役所（商工労政課　神山係長）

はまゆり商店街視察

9 月 9 日　はまゆり飲食店街現地視察と仮設店舗の営業者から現状を説明いただきました。

平成 24 年 12 月 27 日　災害支援協定締結式

岩手県総合防災訓練で達増知事も組合員とともに避難住民に汁物を提供

（平成 26 年 8 月 30 日、八幡平市での岩手県総合防災訓練に機関として参加）

※被災生衛業者仮設店舗等分布一覧（生活衛生同業組合加盟店のみ）

（今後、本設店舗再開に向けた、きめ細やかな対応が必要となる）

H26.11.30 現在

	市町村名	仮設店舗	別の場所での営業	休業中	計
1	久慈市		2 美容 2	1 旅館 1	3
2	野田村	1 理容 1	1 美容 1		2
3	田野畑村			1 旅館 1	1
4	岩泉町			2 美容 1、旅館 1	2
5	宮古市	4 食肉 1、理容 1、美容 2	5 中華 1、理容 1、美容 2、旅館 1	8 理容 3、美容 1 旅館 3、浴場 1	17
6	山田町	18 中華 1、飲食 3、理容 5 美容 9	19 すし 1、中華 2、飲食 8、理容 7 美容 1	1 中華 1	38
7	大槌町	8 理容 3、美容 5	5 料理 1、理容 2、美容 2		13
8	釜石市	46 中華 11、社交 16、飲食 7 食肉 1、理容 4、美容 7	24 中華 8、飲食 7、食肉 1、理容 2 美容 6	7 飲食 3、理容 4	77
9	大船渡市	33 すし 1、飲食 26 美容 5、クリ 1	27 中華 1、料理 3、飲食 16、食肉 1 理容 3、美容 1、旅館 2	7 中華 1、飲食 1、食肉 1 美容 1 旅館 3	67
10	陸前高田市	21 飲食 12、理容 4、美容 3 クリ 2	18 飲食 10、食肉 1、理容 4 美容 1、旅館 2	2 美容 2	41
計		131	101	29	261